

**JSB****JAPAN SOCIETY BASKETBALL FEDERATION**〒112-0004 東京都文京区後楽1-7-27 後楽鹿島ビル6F
TEL 03-3868-8811 FAX 03-4415-2062

一般社団法人 日本社会人バスケットボール連盟

**第2回 全日本社会人O-40バスケットボール選手権大会 四国ブロック予選 及び
第2回 全日本社会人O-50バスケットボール選手権大会 四国ブロック予選 実施要項**

1. 主 催 (公財) 日本バスケットボール協会
(一社) 日本社会人バスケットボール連盟
2. 主 管 (一社) 香川県バスケットボール協会
香川県社会人バスケットボール連盟
3. 期 日 2019年6月29日(土) ~ 6月30日(日)
4. 会 場 ツインパルなご体育館
香川県さぬき市長尾名1494-1 TEL. 0879-52-1126
5. 競技方法 トーナメント勝ち上がり方式
6. 競技規則 JBA2019バスケットボール競技規則 を適用する。
※O-50については、1Q8分で行う。(延長は3分。)
7. 組み合わせ 香川県社会人バスケットボール連盟の責任抽選とする。
※組合せが決定次第、別途連絡する。(初戦から同県による対決がないよう配慮する。)
8. 表彰及び閉会式 優勝及び準優勝を表彰する。
※各カテゴリーの決勝戦終了後、コート上ですぐに行う。

9. 出場割当 O-40

ブロック	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	合計
男子	2	2	2	2	8
女子	—	—	1	—	1

※試合は行いません。

O-50

ブロック	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	合計
男子	1	2	0	1	4
女子	1	—	—	—	1

※試合は行いません。

10. 参加資格 (1) (公財) 日本バスケットボール協会に加盟登録されたチームであること。
(2) (一社) 日本社会人バスケットボール連盟のO-40又はO-50区分に登録されたチーム及び選手で、各県予選を経て代表権を得たチーム又は推薦されたチームとする。
(3) O-40は、平成31年4月1日現在で、満39歳以上の者であること。
O-50は、平成31年4月1日現在で、満49歳以上の者であること。
※O-50は、補強・混成による選抜チームとしての出場を可とする。
(4) コーチは、JBA公認(D級以上) コーチを有し、試合ではベンチに入ること。
(5) 選手は、各県予選大会時において、選手登録されていること。

**JSB****JAPAN SOCIETY BASKETBALL FEDERATION**〒112-0004 東京都文京区後楽1-7-27 後楽鹿島ビル6F
TEL 03-3868-8811 FAX 03-4415-2062

一般社団法人 日本社会人バスケットボール連盟

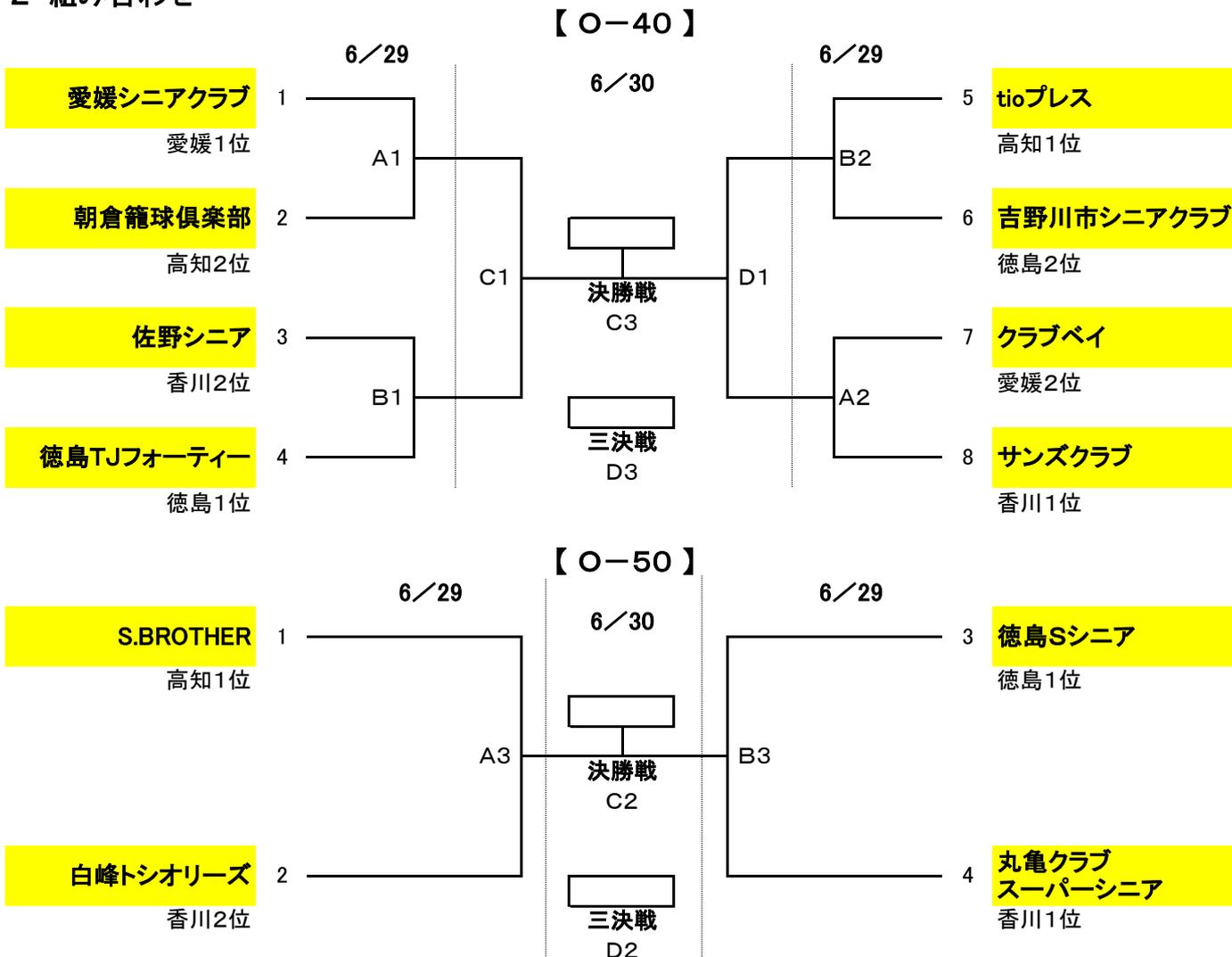
11. 参加人員 選手16名、スタッフ6名以内とする。
12. 参加申込 (1) 申込方法
別紙大会申込書 (Excelデータ) に必要事項を記入の上、下記へメールにて申し込むこと。
(2) 申込先
香川県社会人バスケットボール連盟 事務局長 柳生 明
E-mail py286@union.suido-kagawa.lg.jp
(3) 申込期限
令和元年6月11日 (火)
※予選大会が済んでない県については、決定後、速やかに手続きを済ませること。
13. 参加料 (1) 参加料 30,000円
(2) 振込先 百十四銀行 香西(コウザイ)支店 普通No1000711
(口座名義)香川県社会人バスケットボール連盟
※振込の際は、必ずチーム名で振り込むこと。
※振込手数料は、各チームでの負担をお願いします。
(3) 振込期限 令和元年6月11日 (火) 振込完了のこと。
14. エントリー変更
申込後のエントリー変更は認めません。
※ベンチに入るコーチのみ、試合開始30分前までの「変更届」提出による変更対応を認めます。
15. 試合球 大会使用球は、株式会社モルテン製のものとし、主管県が準備します。
※JSBから支給予定のオリンピック競技公認球が間に合わない場合は、従前の規格球とします。
16. 全国大会出場枠
今大会の各区分の優勝チーム(0-40男子区分のみ準優勝チームまで)が、11月23・24日に、宮城県仙台市で開催される全日本社会人O-40・50バスケットボール選手権大会の出場権を得る。
17. その他 (1) スポーツ傷害保険等への加入は、各チーム責任により対応してください。
(2) 練習コートは、ありません。
(3) 別添「競技会場での注意事項」に十分留意すること。
18. 宿泊斡旋等 宿泊及び昼食弁当の斡旋は行いません。
※必要に応じて、個別のご相談には、可能な範囲で応じます。
19. 問合せ先 香川県社会人バスケットボール連盟
事務局長 柳生 明
TEL 090-2822-3020
E-mail py286@union.suido-kagawa.lg.jp

第2回 全日本社会人O-40/50バスケットボール選手権大会 四国ブロック予選

1 参加チーム

O-40			O-50		
1	徳島TJフォーティー	徳島1位	1	徳島Sシニア	徳島1位
2	吉野川市シニアクラブ	徳島2位	2	S.BROTHER	高知1位
3	tioプレス	高知1位	3	丸亀クラブスーパーシニア	香川1位
4	朝倉籠球倶楽部	高知2位	4	白峰トシオリーズ	香川2位
5	愛媛シニアクラブ	愛媛1位			
6	クラブベイ	愛媛2位			
7	サンズクラブ	香川1位			
8	佐野シニア	香川2位			

2 組み合わせ



3 日程・会場

6/29(土)	ツインパル長尾体育館	A・Bコート(各3試合)	Aコート・ステージ側/Bコート・駐車場側
6/30(日)	ツインパル長尾体育館	C・Dコート(各3試合)	Cコート・ステージ側/Dコート・駐車場側

4 試合開始時刻等

6/29(土) ①11:00～ ②12:40～ ③14:20～
 6/30(日) ①10:30～ ②12:10～ ③13:50～

O-50決勝後、表彰式。 O-40決勝後、表彰式。

※定刻スタート、試合間インターバルは10分確保する。

※O-50の試合時間は、8-2-8(10) 8-2-8で運用し、オーバータイムは3分間とする。

※開場時間は、各日とも、第一試合開始時間の1時間前です。

第2回 全日本社会人O-40/50バスケットボール選手権大会 四国ブロック予選

★ 競技会場での注意事項 ★

1. 喫煙について(電子式・加熱式たばこ含む)
 - ・館内禁煙となっていますので、指定の喫煙場所(館外)でお願いします。
2. 貴重品・手荷物の管理について
 - ・各チームで責任をもって管理・保管して下さい。(ゲームの際はベンチへ)
 - ・盗難には十分注意をしてください。
 - ・コインロッカーは更衣室にあります。
3. 会場で生じたゴミ類は、各自・各チームで処理してください。
 - ・特に、ベンチにペットボトルなどを残さないようにお願いします。
4. 当会場では上履き・下履きの区別が必要です。
 - ・履き替えたシューズなどは各自で保管してください。
5. アップを行うスペースについて
 - ・アップ場は用意しておりません。(悪天候でなければ、館外には十分なスペースがあります。)
 - ・チーム責任にて空いてるスペースをお使いください。
 - ・ハーフタイム及び試合開始前以外では、館内でのボールを使ったアップはご遠慮ください。
6. 観戦・試合待機スペースについて
 - ・館内には、観客席や十分なスペースがありません。御了承ください。
 - ・観戦や試合待機等は、コート間のスペースを使用します。譲り合ってご利用ください。
 - ・なお、移動の際は、リング下を通過しますので、試合に支障のないようにご配慮願います。
7. 駐車場について
 - ・体育館利用者が無料で使用できる駐車スペースが十分にあります。

★ その他の注意事項 ★

1. 施設へのアクセスについて(自家用車)
 - ・最寄の高速ICは、高松道徳島方面行きは「高松東IC」で、そこから約11キロ、20分程度です。
 - ・徳島道から山越えの場合は、「美馬IC」から、約30キロ50分程度です。(山道・カーブ多し)
2. 周辺の宿泊施設について
 - ・周辺には宿泊施設は、ほとんどありません。ご注意ください。(最寄は「トRESTA白山ホテル」)

2019ルールの変更点

ユニフォーム（4-3）

目的：詳細を追加する。

変更点：

- **シャツとパンツは同じ主となる色**でなければならない
- シャツに袖がある場合は肘より上まででなければならない。長袖は認められない
- **ソックスは見える状態**でなければならない
- シューズは色の組み合わせは自由であるが、**左右は必ず同じものでなければならない**。点滅するライト、反射素材やその他の装飾物は認められない

チームの身につけるもの（4-4）

目的：詳細を追加する。

変更点：次のものは身につけても差し支えない：

- 腕のコンプレッションスリーブで、黒色か白色あるいはシャツと同じ主となる色のもの。ただし、同じチームのプレーヤーは同じ色を着用しなければならない。
- 脚のコンプレッションスリーブで、黒色か白色あるいはパンツと同じ主となる色のもの。ただし、同じチームのプレーヤーは同じ色を着用しなければならない。
- ヘッドギアで、黒色か白色あるいはシャツと同じ主となる色のもの。ただし、同じチームのプレーヤーは同じ色を着用しなければならない。
顔の一部（目、鼻、唇等）もしくは全部を覆うものは、着用するプレーヤーもしくはその他のプレーヤーに危険なものであってはならない。
また顔や首の開閉部分や表面に突起物があってはならない。
- **リストバンドで、幅は最大10cm、繊維素材でできた黒色か白色あるいはシャツと同じ主となる色のもの。**
ただし、同じチームのプレーヤーは同じ色を着用しなければならない。
- 腕や肩、脚等のテーピングで、黒色か白色あるいはシャツと同じ主となる色のもの。ただし、同じチームのプレーヤーは同じ色を着用しなければならない。
※ただしキネシオテープなどの肌色のテープは対象外とします。
- **足首の装具で、透明か黒色か白色のもの。ただし、同じチームのプレーヤーは同じ色を着用しなければならない。**
※すべての身につけるものは、同じチームのプレーヤーは同じ色を着用しなければならない。（黒色か白色あるいはユニフォームと同じ主となる色のもの）

リバーシブルのユニホームについて

リバーシブル



JBAの競技規則では

4-3-3 各チームは、シャツを2セット以上用意しておかなければならない。

となっているのリバーシブルのユニホームは不可となります。※リバーシブルを濃淡2着用意することはOK
ただし、各都道府県の大会についてはユニホーム規程に関しては各都道府県の社会人連盟の裁量に任せます。

身につけることができないもの

×色つきのライン



×色違い



×単色では無い



×単色では無い



5color



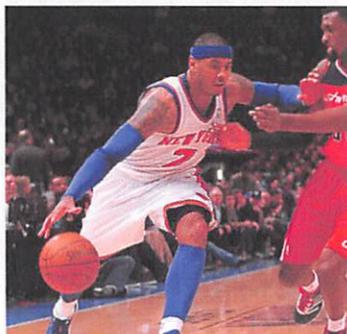
※ただし単色のサポーターや単色のコンプレッションの下に身につけることは可能

※ワンポイントのロゴはOK

×無色透明では無い



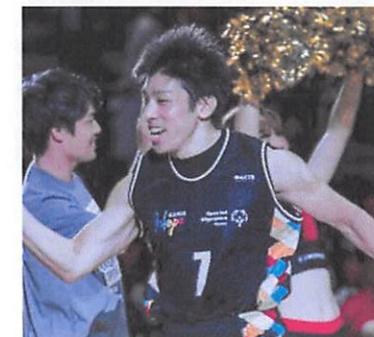
×色は統一だが、ユニホームと同色ではない



×単色では無い



×シャツが出ている



※ワンポイントのロゴはOK

2019 バスケットボール競技規則(抜粋)

黄色のマーカー個 は、2019変更箇所

4-3 ユニフォーム

- 4-3-1 全てのチームメンバーのユニフォームの規定は、次のとおりとする：
- シャツは、パンツと同様に前後同じ主となる色でデザインされたもの
シャツに袖がある場合は肘より上まででなければならぬ。長袖は認められない。
全てのプレーヤーは、コート内ではシャツをパンツの中に入れなければならない。「オールインワン」は認められている。
【補足】国内大会では、女子についてはシャツをパンツの外に出すようにデザインされたものを使用してもよい。
 - シャツの下にTシャツを着ることは、いかなるスタイルであっても認められない
 - パンツは、シャツと同様に前後同じ主となる色でデザインされたもの
パンツの裾は膝より上まででなければならぬ。
 - ソックスは、全てのチームメンバーが同じ主となる色でデザインされたもの
ソックスは見える状態でなければならぬ。
- 【補足】国内大会においては大会主催者の考えにより変更することができる。
- 4-3-2 各チームメンバーはシャツの前面と背面に、シャツの色とはっきりと区別できる色で整数の番号をつける。
番号ははっきりと見えるもので、そのうえで：
- 背面の番号の高さは20cm以上とする
 - 前面の番号の高さは10cm以上とする
 - 番号の幅は2cm以上とする
 - 番号は0、00および1から99のいずれかを用いる
 - チーム内で異なるプレーヤーが同じ番号を用いてはならない
 - ユニフォームに広告や商標、ロゴマーク等をつける場合は、番号から5cm以上離れていなければならない
- 4-3-3 各チームは、シャツを2セット以上用意しておかなければならない。
【補足】「2セット以上」とは濃淡それぞれ2セットである。ただし国内大会では、大会主催者の考えにより決定することができる。
- そのうえで：
- プログラム上で最初に記載されているチーム（またはホームチーム）は淡色のシャツを着用する（白色が望ましい）
 - プログラム上で2番目に記載のあるチーム（またはビジターチーム）は濃色のシャツを着用する
 - ただし、両チームの話し合いで双方が了解した場合は、シャツの色の濃淡を交換することができる
- 4-4 その他の身につけるもの
- 4-4-1 プレーヤーは、プレーをするのにふさわしくないもの、ゲームに支障をもたらすものを身につけてはならない。身長や腕の長さを補ったり、その他どのような方法であれ、不当な利益をもたらすような用具・器具を使用したり着用したりしてはならない。
- 4-4-2 プレーヤーは、他のプレーヤーに怪我をさせる可能性があるものを着用してはならない。
- 次のものは身につけてはならない：
 - 柔らかいパッドで覆われていても、指、手、手首、肘や前腕の防具、ヘルメット、固定具や支持具で、皮革、プラスチック、合成樹脂、金属、その他硬い素材で作られているもの
 - 他のプレーヤーに切り傷やすり傷を与えるようなもの（指の爪は短く切っておくこと）
 - ヘアアクセサリーや貴金属類
 - 次のものは身につけても差し支えない：
 - 十分にパッドで覆われている肩、上腕、大腿部や下腿部の防具
 - 腕や脚のコンプレッションスリーブ
 - ヘッドギア。顔の一部（目、鼻、唇等）あるいは全部を覆うものではなく、着用するプレーヤーあるいはその他のプレーヤーに危険なものであってはならない。またヘッドギアは顔や首に開閉部分を持たず、表面に突起物があってはならない
 - 膝の装具で、適切にカバーされているもの

- 負傷した鼻のプロテクター(硬い素材で作られたものを含む)
- 無色透明なマウスガード
- 眼鏡で、他のプレーヤーに危険が及ばないもの
- リストバンドやヘッドバンドは、最大10cmの幅で、繊維素材のもの
- 腕や肩、脚等のテーピング
- 足首の装具

同じチームの全てのプレーヤーの、腕や脚のコンプレッションスリーブ、ヘッドギア、リストバンド、ヘッドバンド、テーピングは全て同じ単色でなければならない。

- 4-4-3 ゲーム中にプレーヤーが着用するシューズは色の組み合わせは自由であるが、左右は必ず同じものでなければならない。点滅するライト、反射素材やその他の装飾物は認められない。
- 4-4-4 ゲーム中、プレーヤーはいかなる商業的、宣伝的、チャリティー目的の名前やマーク、ロゴやその他特定できるものを体、髪の毛、その他の場所に表示させてはならない。
- 4-4-5 本条に記載のない、その他の身につけるものについては、FIBAテクニカルコミッションによって承認されなければならない。
【補足】国内大会においては、承認者は大会主催者となる。大会主催者は必要に応じて(公財)日本バスケットボール協会に確認する。